

令和元年度ホタテガイ採苗情報（第4報）

令和元年5月15日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



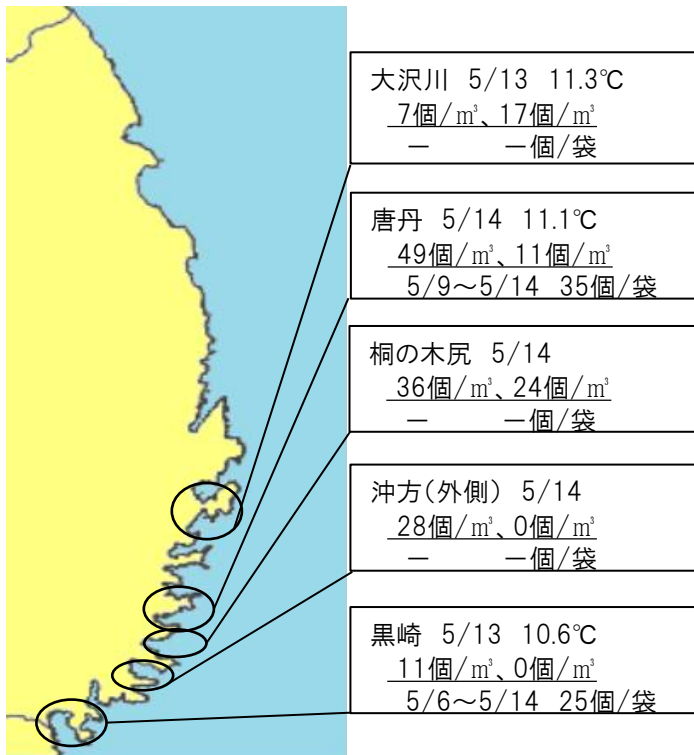
ホタテガイラーバの出現が継続しています。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.1℃で、透明度は11.0mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイラーバの出現が継続しています。
- 唐丹湾の試験採苗器へは35個体（5/9～5/14）のホタテガイ稚貝が付着しており、うち付着直後の稚貝は16個（46%）でした。
- 付着のピークはまだ確認されません。
- 県内の他地区でも、ホタテガイ稚貝の付着が確認されています。

< 宮城県の状況（5月9日発行ホタテガイ採苗通報（第3報）） >

250ミクロン未満の小型幼生がわずかに確認され、唐桑では大型幼生も観察された。唐桑及び女川では付着稚貝がわずかに確認された。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月24日頃に
発行する予定です。

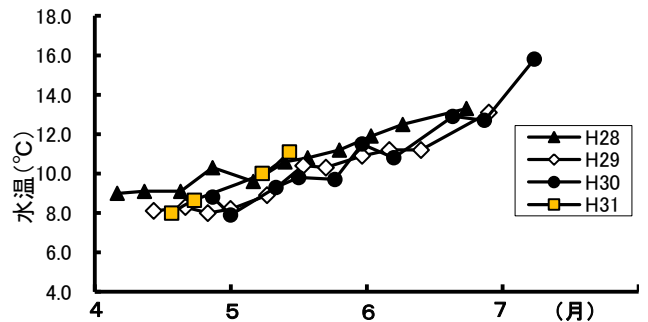


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

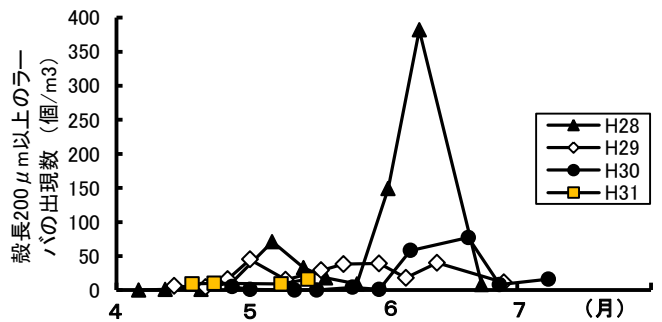


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

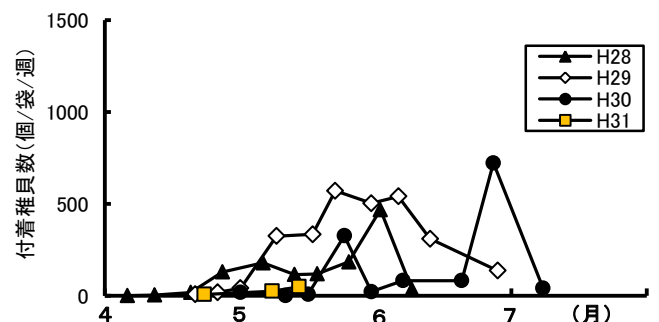


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数